

セツガイ 広報たしる

No. 331

昭和56年3月号

田代町総務課編集

1,500部発行

節分



(鶴園で)

セツガイ!

二月三日、節分。北風が大変強く寒い夜でした。

鶴園部落では、昔からの伝統行事として、いったんとだえていたセツガイを五年前から復活しています。

これは、「福は内、鬼は外」と大きな声で唱えながら豆をまく習慣と同じで、たくさん竹を部落民で集め、いつせいに火をはなち、燃える竹の音「パンパン」という音で鬼を追い払ってやるという行事です。

部落民総出で、まっ

暗やみの田んぼの中にかぶ炎で鬼たいじをし、焼酎をくみかわしまた子供たちは、はしやぎ現代とは違ったおもむきがあったようでした。

また、この行事は池野、西大原でも行われました。

新入学児童の交通安全

交通ルールを親子で語ろう

新学期まであとわずか。
新入学児童をお持ちの二家庭では、期待に胸をふくらませながら、入学の準備になにかとお忙しいことでしょう。
お子さんの入学にあたって忘れてはならないことの一つに、交通ルールのしつけがあります。いままでは、比較的家の近所で遊んでいた子供たちも、学校に通うようになると、その行き帰りを初め、新しい友達もできるなどして、行動範囲はだいに広がっていきます。
ここで気を付けなければならぬのが、交通事故です。毎年、この時期は、新入学児童の交通事故が目立ちます。入学を前に、正しい交通ルールについて、一度親子でよく話し合いたいでしょう。



子供を交通事故から守るにはまず子供の行動の特性をよく知ることが大切です。そのいくつかをあげてみますと

子供の行動特性を知ろう

▽子供は一つのことだけに気が向くと、まわりのものが目に入らなくなる。ボールが道路にころがり出すとつい走り出すのもそのためです。
▽ものごとを単純にしか理解できない。いつでも、黄色い小旗をあげると車は必ず止まると思いこみがちですが、車は急には止まりません。
▽「あぶないよ」とか「注意しなさいよ」という抽象的な言葉だけでは、具体的な行動と結びつけて理解することがむずかしい。

▽信号無視をしている大人や年上の子供を見るとすぐまねをしたり、自分で状況を判断しないで大人や年上の子に依存しがちで、人の流れにたよって信号もみないで横断歩道を平気で渡ったりすることが多い。
▽応用動作ができない。例えば



◎通学時間にゆとりをもたせる
子供は、しかられるとそのことで頭がいっぱいになり、周囲の状況が目に入らなくなります。
また、時間にゆとりがなかったり、忘れものをし、途中で引き返したりすると、非常にあわてるため、注意力が散漫になり、事故のもとになりますから注意しましょう。
一方、車を運転される方は、こうした子供の行動特性を十分理解して、子供を見たら「赤信号」と思い、細心の注意を払いましょう。

登校前はゆとりをもつて

◎忘れものをさせない
子供は、ふだんから交通ルールをよく教えるとともに、朝、学校に送り出すときは、次の点に十分気をつけましょう。
◎出かけるときにしらない
◎忘れものをさせない

「飛び出し」による事故が約七割

子供の交通事故で一番多いのは、いわゆる「飛び出し」です。警察庁の統計によりますと、昭和五十四年の幼児と小学生の交通事故のうち六六％、つまり全体の七割近くが路地から大通りなどへの「飛び出し」が原因となっています。
小学生の「飛び出し」による事故は、一～三年生が四～六年

「飛び出し」による事故が約七割

生に比べて約四倍にものぼっており、低学年ほど危険が多いことを物語っています。
「飛び出し」に次いで事故件数の多いのは「横断中の事故」で、停車している車や走っている車の直前直後の横断、信号無視、路上で遊んでいて――などとなっています。

田代町になって二十年 記念事業を計画

本町は昭和三十六年四月一日に町制施行され、本年四月一日で二十周年を迎えることとなります。
町ではこれからの町政躍進のため、二〇周年記念事業として次のようなことが計画されています。
町民各位の協力方をお願い申し上げます。



ミス田代が愛嬌よく沿道の町民に挨拶

町の歴史を後世に残すため、町民各位購入されるようお願いします。
○元参議院議員故柴立芳文氏顕彰碑建立事業
郷土の生んだ大政治家元参議院議員故柴立芳文氏が他界されてから今年で七年になります。永年地方行政、国政発展に尽くされた功績を後世に伝えるため、顕彰会を発足して一般の寄付金により胸像の建立、顕彰誌発行

○郷土誌発行事業
昭和四十七年十月当時の原町長が、郷土誌発行編さん委員会を発足され、以来今日まで委員の方の努力により、すでに資料集が十号まで発行されました。この資料集をまとめて十一月三日頃を予定して郷土誌の発刊がされます。

等の事業を行うことになっていきます。すでに町民の皆様からも多大な寄附金が集まっています。
○記念式典事業
十一月三日（文化の日）に町制施行二〇周年記念式典が挙行される予定です。
○記念植樹祭
町民の総参加と奉仕活動の一つとして、町有林（新田）の一部に記念植樹として杉を植えてもらうこととなります。これらの事業は、町の基本財産である町有林は町民の共有財産であるということと愛林思想を普及するためです。御理解下さるようお願いいたします。

タケノコ 高値で取引

竹林改良事業で推進しているタケノコの生産が順調に伸びてきています。
これは、モウソウ竹林を一反当り百五十本から三百本にへらし、施肥、除草、土どめなどを行い、十一月下旬から二月上旬にかけて青果用を主体として、早期タケノコの生産を行なうものです。
現在では、猪鹿倉を中心に百二十アールの竹林を改良し、東京市場に出荷し、一キロ当り、三千円から六千円の高値で取引されています。
モウソウ竹林の有利な点は、農閑期の短期間に収入が得られ老人、婦人でも作業ができ、少ない労働力で済みます。



猪鹿倉忠義さんの竹林

転居のとき

竹林を所有しておられる皆さん、あなたも、竹林改良をやってみませんか。
経済課に、お問い合わせください。
一、転居のとき電話機はどうしよう？
……あなたのご心配を
手紙に解消……
。三月、四月は引っこしのシーズン、役場等への届出、転校の手続、荷物の梱包と大変忙しい時ですから電話機はそのままで結構です。
。転居先の電話はその地区の電話局が出向きます。
。転居される一週間前には電話局へご連絡ください。



教育だより

田代小学校

一月二十四日、寒風について校内持久走大会が行われました。十三日から各学年に応じて大会にそなえました。

各学年の一位はつぎのとおり

一年男子	上ノ原厚生
二年男子	猪鹿倉リカ
三年男子	山下 博美
四年男子	小牧 聡子
五年男子	持増 健作
六年男子	小園 利江
同 女子	井上 浩二
同 女子	近川 信代
同 女子	藤崎 成博
同 女子	宮前真由美
同 女子	持増 明百
同 女子	川路智賀子

大原中学校

今年で六回目を迎える校内駅伝が、盛大に行われた。「駅伝は己れとの戦いである」たんたんとした生徒会長の挨拶にも次第に熱がこもってくる。心なしか、選手一同にも異様な目のかげやきを感じるようだ。全員参加に加えて、生徒会専門部対抗ということもあり、「我



新記録めざして

進路希望決定

田代中学校

田代高校一学級減によって、一番窺知に迫りこまれたのは、希望者数の多い田代中ではなかったかと思う。

しかし、もめにもめた進路もそれぞれきまり、ほっと一息というところだ。あとは全員揃って合格することを祈るばかりである。七十六名の進路希望は次のとおりである。

南大隅 (田代分校)	二十四名
南大隅	十九名
鹿屋普通	二名
鹿屋工業	二名
鹿屋農業	七名
職業訓練校	四名
就職	二名
私立	十五名

進路体験発表会

田代分校

今年も進路体験発表会が開かれた。この催しは三年生の進学・就職試験の合格体験を、一・二年生の参考にさせる目的で計画されたもので田代分校では三回目である。

男女六人の発表者の報告内容は、自分たちのなまの体験を綴ったものだけに説得力があり、一・二年生は熱心に聞いていた。報告では、合格のためには一・二年の時からコツコツ努力を積み重ねることが必要であり、そのためには進路決定は早い方

やる気のある子をめざして 大原小学校

最近の大原小学校の特色ある教育活動の一端を紹介します。

◎早朝自主活動

七時すぎ登校してきた子どもたちは、自分たちの計画に従い、すすんで校舎内外の清掃、除早石ころひろい等を行っています。「ちりひとつない美しい学校」の合言葉で、暑い夏の日も、寒い冬の日も毎日続けてきました。心の美化とともに、汗を流して本気になって働く子どもたちの姿が見られるこの頃です。

◎仲よし農園稲づくり

仕事にうちこんでやりぬく子

がよいこと、クラブ活動は根性と協調性を養ううえでも重要であり、参加すべきであること、面接・作文・学科試験の準備については、学校の指導に素直にそして積極的にとりくんでおれば心配はいらないこと、などが強調された。

この催しの教育効果は特に、二年生に対して大きく、例年これを機会に生徒の進路問題に対する自覚が急速に深まること、が確認されている。

報告を聞いた一・二年生は、他人ごとでなく自分のこととして真剣に進路学習にとりくむ意気込みを表明していた。

をめざして、ハアールのたんばで稲づくりをしました。父母の苦勞の理解と、汗を流す尊さを喜び、奉仕する価値を自覚する態度が培われてきました。

◎仲よし広場の時間

心を育てる活動、体を鍛える活動、知恵を磨く活動、働き奉仕する活動を主に、月一、二時間設定しています。地域を語る会、自作展あげ大会、キャンプ、サーブ、室内オリンピック大会、発明工夫展等の時間があり、子どもたちの心に、さわやかな充実感が得られたようです。

昭和56年度の農作業標準賃金

(単位:円)

小作料の標準額改訂

農地の区分	小作料の標準額	備考
(田の部)上田	20,000円	10a当り
〃 中田	16,000円	〃
〃 下田	11,000円	〃
(畑の部)普通畑	6,000円	〃

年 度		56年
項 目		
1日当り農作業賃金	男	3,600
	女	2,800
水田賃料	耕起(10a当り)	6,000
	(水田車輪使用の場合)	(1,000増)
	整地(10a当り)	6,000
	田植機料金(10a当り)	5,500
	稲刈機料金(10a当り)	6,600
	脱穀料金	
	米・麦(1俵当り)	550
肥料	ウラ料金(ひとしめ)	550
	畑作耕賃料金	
整地(10a当り)		5,200

国民年金保険料の納め忘れはありませんか?
未納されますと障害年金等の給付が受けられなくなります。

人 口		前 月
基本台帳人口		との増減
56年2月1日現在		
男	2,184人	△8
女	2,391人	1
計	4,575人	△7
世帯数	1,472戸	2

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

園児の力作ズラリ

田代幼稚園
川原保育園

児童の作品展

田代幼稚園、川原保育園では二月二十日作品展を幼稚園と保育園で行った。

この作品展は、園児の集中力や創造性を養い、共同で作品を作る楽しさを味わわせるため、毎年実施しているものである。

作品は一年間にわたって描いた図画や長期にわたって根気強く続けた朝顔やヒマワリの観察日誌、紙細工、ねんど細工、さらには、紙コップや空きかん、空箱を利用した動物、自動車、船

社会教育諸学級講座終了

本年度教育委員会が主催した社会教育関係諸学級講座がすべて終了した。

本年度は青年教室一、婦人学級二、家庭教育学級二、高齢者学級三、公民講座（着付教室）の計十の講座を開設したが、いずれも多くの学級生が集まり盛会であった。ただどの学級にも共通することはやや尻すばみになる傾向があることで、十回の学習を、もう少し根気強く続けてほしいと思うことである。



着物着付教室の閉講式

会を利用していただけるよう希望する次第です。



児童の作品展

とか共同製作のちぎり紙や、動物など子ども達の夢を託した力作がズラリとならべられ、見物した父母達も圧倒されそうなすばらしいできばえであった。

先生の話しでは、園児たちがよろこんで作品づくりに励んでいたし、共同でなくてはできない作品をつくるよろこびを味わったのではないだろうか。

また、父母も、自分たちの子どもが、こんなにもすばらしい創造力を持っているのかと、我が子ながら感心して見入っていたということだった。

作品を展示するのに三日間を要したすばらしい展示会であった。

郡青年駅伝四位

郡青年団連絡協議会主催による第十三回駅伝大会は去る二月一日吾平町から佐多町のコースで実施された。

例年は田代スタート、東串良ゴールのコースであったが、交通事情等の関係で今年はコースを変えざるを得なかったようである。

本町青年団は一月十日より練習を開始、例年になく充実した練習で、関係者の期待も大きかったが、昨年と同じ四位であった。

結果は次の通り
一位 根占
二位 大根占
三位 東串良
四位 田代
五位 吾平
六位 佐多A
七位 串良
八位 佐多B
なお、本町の吉田選手は、二区で区間賞を得た。

教育研究会開く

町内の小中学校の先生方が一堂に集まり、本町の教育を研究討議し合う教育研究会が一月三十一日開発センターで実施された。

会では町長祝辞のあと、県外研修の報告や各学校の研究経過が報告された。特に研究経過報告は本町の全学校が二年継続で取り組んできた生徒指導に関する発表がなされた。さらに、研究を深める討議が行われ盛会であった。

3月行事予定

6日	町婦人大会
7日	子ども会リーダー育成者合同研修会
12日	公立高校入試
12日	ファミリゲート
15日	ボール大会
19日	町内中学校卒業式
20日	公立高校合格発表
23日	町内小学校卒業式
25日	小中高校修了式

